

長善館

友の会会報

平成30年3月31日
創刊号

友の会会報の発刊にあたって



友の会会長 星野 昭 英

江戸時代後期、燕市粟生津地区に漢学者の鈴木文臺が創設、幕末から明治にかけて、日本の近代化を担う多くの人材を輩出した私塾、長善館の功績を多くの人に知ってもらい、その精神を伝えていくことを目的に「長善館友の会」が設立いたしました。

設立までには、準備会議を重ね、いろいろな方々の

ご支援をいただき、ようやく会を発足することが出来ました。設立総会では、筑波大学中野目徹教授から設立記念講演をしていただくこともできました。

個人や法人の会員2000人以上から賛同をいただくという予想を超える人たちからの支援をいただくことが出来ました。

発足が年の途中ということ

設立総会



ともあり、活動も限られてしまいましたが、12月には、友の会先進の「諸橋轍次記念館」の視察研修を行い、多数の皆さまから参加をいただきました。

また、限られた予算の中から、粟生津地区発行の「わがむら」を会員の皆様にも配布し、地域の活動の支援を行うことができました。さらに、長善館史料館

の企画展の案内を発送し、史料館企画展のPRも行いました。

会報の発刊にあたって、新潟県女流書家で燕市溝の早川友子（聴琴）様からは題字を揮毫していただきました。また、法人会員「真滝プリント」様の協力の下、会報の版の作成など支援をいただきました。

今後とも会員相互の連携を深めると共に長善館史料館の発信にも積極的にかかわっていきたいと思います。

記念講演

「長善館友の会」設立総会 次第

- 1 開 会
- 2 発起人挨拶 長善館友の会設立準備会 会長 星野 昭 英
- 3 長善館友の会設立趣意宣言
- 4 議 事
 - 第1号議案 長善館友の会会則(案)について
 - 第2号議案 役員選出(案)について
 - 第3号議案 平成29年度長善館友の会事業計画
 - 第4号議案 平成29年度長善館友の会予算(案)
- 5 来賓挨拶 燕市長 鈴木 力 様
燕市議会議員 中山 真二 様
- 6 閉会挨拶
- 7 閉 会

善不由外来兮 名不可以虚

石塚 敬大

標掲は『楚辞』の一節

であり、私には先師の言である。「善は外由り来たらず名は以て虚しく作すべからず」、自身が怠惰であればこそ、幾度となく呟いてきた。馬齢を重ねても成長したかのごとき錯覚はし得るが、『論語』に「義を見て為さざるは勇無きなり」とあれば差し、『淮南子』に「天下に三危有り」とあれば焦り、如何に我々大人が私情や私欲によって「善」から遠退きがちであるかを思わされる。「長善」を掲げる漢学塾の志は、それゆえに崇高なのである。往日、史料館のご厚意

により、文臺先生の『孟子考』を拝読する機会を得た。

古註を採って朱註を否とする古学派の学問であり、伊藤仁齋の『孟子古義』を尊びつつ、諸説の蒐集には余念がない。およそ江戸遊学期の環境がなければ成し得なかつた一著であろうが、そもそも、遊学者にとつての帰郷は、かつて憧憬した学問の環境を捨て去ることでもある。『孟子考』の校点を進めながら、書物を求めては千里を遠しとせず、また、雪国越後で寒燈に對し続けた文臺先生の姿が想見され、孤高の大儒の生涯に、あらためて敬服を禁じ

◀孟子考

得なかつた。

さて、「長善館を保存する」とは、



如何なる時代に在つても主体的に生き抜く人材を育成することであり、先人の輝かしい功績を讃え、史料を後世に伝えていくのはそのためである。それは謂わば、長善館を蘇らせる試みでもあろう。その一端として、今後文献の読解を継続していきたい。その成果が、次世代を担う人々の学びに多少なりとも資するものとなれば幸甚である。会の内外を問わず、諸賢のご指導を乞う次第である。

平成29年度

長善館史料館

団体見学者

4月…BSNラジオインタビュー

・吉田シニアセンター
教養講座

5月…米山地区コミュニティセンター

・良寛詩歌を読む会

6月…長善館学習塾開校式

・第2回文臺と良寛を
楽しむ会(地区協議会)

・島上小学校6年生



▶燕中等教育学校見学



▶ 諸橋徹次記念館前にて

館友の会初めての行事となる視察研修が行われました。12月の開催という多忙な時期の研修となりましたが、21名の参加いただき無事終了することができました。

視察研修

漢学の里

諸橋徹次記念館と 三条市本成寺

平成 29 年 12 月 2 日(土)長善

漢学の里諸橋徹次記念館

では、ビデオ放映見学の後、嘉代隆一館長様から館内の展示と友の会の現状などについて説明をしていただきました。諸橋徹次博士の功績のほか鈴木虎雄博士とのかわりなども丁寧な説明をしていただきました。また、施設内の庭園や移築された生家などもゆつくりと見学できました。

続いて、三条市の本成寺は自由見学とさせていただきますました。境内には本成寺山門など県の文化財指定されている建物や三条市の文化財指定されている多宝塔、

◀ 本成寺山門にて



千仏堂などを順に見て回りました。また、寺務所内には、石川雲蝶作の「赤牛」、菩提寺には「柿の実を持つ猿」など数々の作品も見学することができました。天候にも恵まれ有意義な視察研修となりました。



▲ 「柿の実を持つ猿」

- 6月…吉田小学校3年生
 - ・燕中等教育学校1年生
 - ・米沢市「峰月会」
 - ・大関小学校3年生
- 7月…粟生津小学校3年生
 - ・柏崎市「剣野ふるさと学級」
- 8月…燕地区民生委員
- 9月…分水小学校特別支援学級
 - ・小池小学校3年生
- 10月…秋彩祭参加(地区文化祭)
 - ・小中川小学校3年生
 - ・新潟市郷土史会
 - ・第3回長善館の講義体験と学習発表会(地区協議会)
 - ・燕北小学校3年生
- 11月…第2回保育園児と老人会の長善館かるた会(地区協議会)
 - ・静岡県函南町議会
 - ・燕市役所職員採用予定者
- 2月…松長小学校3年生

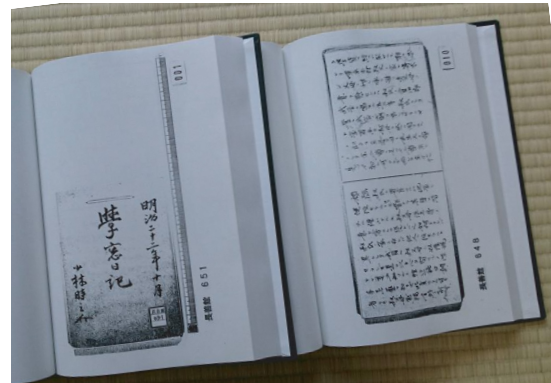
長善館史料館展示紹介

鈴木虎雄博士が1878（明治11）年に生まれて、今年は生誕140年の節目の年に当たります。博士が長善館で学んだときの勉強ノート（原稿）などを展示し、皆様の来館をお待ちしております。

4 月には作品の一部入れ替えを行い、6 月24日(日)まで展示の予定です。

長善館歴代館主の日記が閲覧可能に

新潟県立文書館に保存されている、長善館歴代館主の日記（複製）が長善館史料館で閲覧が可能になります。これは、燕市が筑波大学中野目徹教授に委託している「歴代館主日記解読業務」（4年間継続）事業により実現したものです。閲覧ご希望の方は、長善館史料館事務室に気軽にお声かけください。



長善館友の会 新年度会員募集

「長善館友の会」の入会会費は、単年度ごととなっております。現会員の皆様方からは、引き続き入会いただきますようお願いいたします。個人会員は500円・事業所会員は1,000円です。大勢の方の入会をお待ちしております。入会手続きは、長善館友の会事務局まで。

※6月2日（土）に友の会の総会を予定しております。

当日は、新潟県漢詩連盟会長の佐藤海山先生をお迎えし、記念講演を予定しております。（演題「暢軒、豹軒親子の诗情について」）大勢の皆様方の聴講をお願いいたします。

- 一般印刷 ●名刺・ハガキ・封筒 ●書籍・刊行物
- ステッカー ●のぼり ●看板 ●カッティングシート



〒959-0242 新潟県燕市吉田大保町 2-13
TEL. 0256-92-7820
FAX. 0256-87-1753
E-mail: info@shintaki.net

編集後記

企画展の案内は届きましたか、4 月からも引き続き鈴木虎雄博士の長善館のノートなどを展示しております。会費の納入を兼ねて、足を運んでください。お待ちしております。

初めての会報発行ということでもう少しよいかと、悩んでおりましたが、中越高校の石塚先生から寄稿していただくことができました。史料館所蔵の文臺著「孟子考」について論文を執筆中ということで完成が期待されることです。

6 月には友の会総会開催の予定です。皆様の参加をお待ちしております。

事務局倉橋は横山と交代になります。紙面を借りてご報告申し上げます。なお、会員として皆さまと共に活動していきたいと思っております。今後ともよろしく願います。

発行 長善館友の会
事務局 長善館史料館内
〒九五九一〇二二七
新潟県燕市粟生津九七番地
電話 〇二五六一九三一五四〇〇